

●第二次山陽小野田市総合計画＝12 か年計画（平成 30 年～令和 11 年）

これを根本に施策を展開する

●基本構想：5 つの基本目標

- ①子育て・福祉・医療・健康 ～希望をもち健やかに暮らせるまち～
- ②市民生活・地域づくり・環境・防災～人と自然が調和する安心のまち～
- ③都市基盤～快適で潤いある暮らしができるまち～
- ④産業・観光～地域資源を活かした活力ある産業のまち～
- ⑤教育・文化・スポーツ～意欲と活力を育む学びのまち

●中期基本計画（令和 4 年度～令和 7 年度）

中期基本計画では、この五つの基本目標に、行財政運営など計画の実現に向けた取組を加えた六つの章立てを行い、基本構想に掲げるまちづくりを総合的・計画的に推進するために必要となる施策を示す。

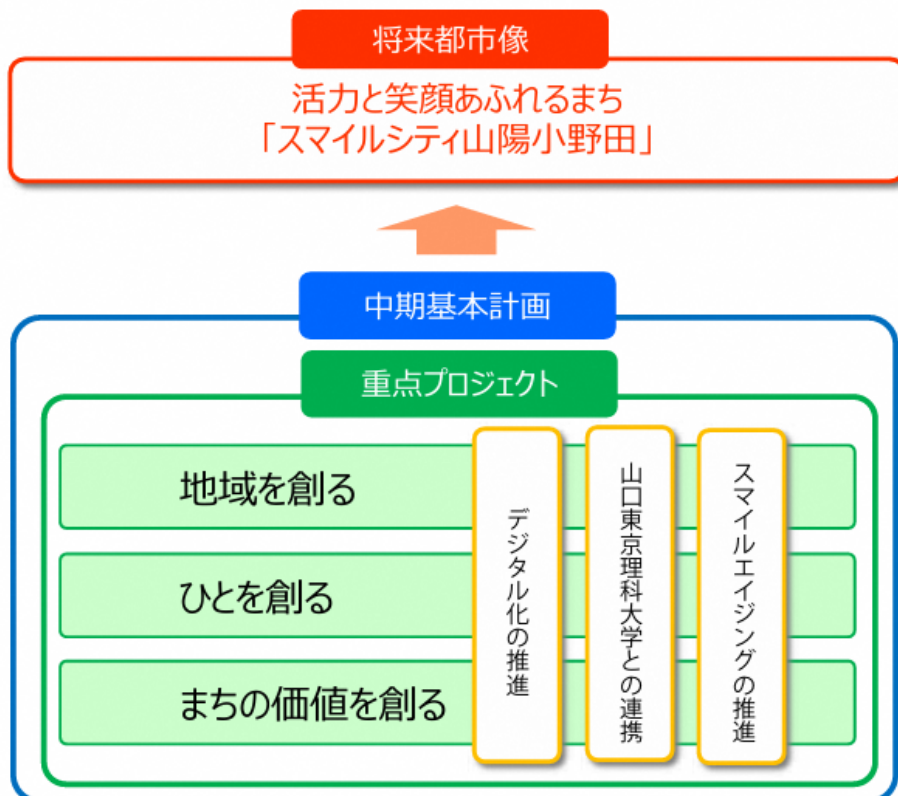
基本計画は、社会経済情勢の変化や基本計画の実施状況を踏まえ、前期、中期、後期に分けて策定し、計画期間はそれぞれ 4 年間。

≪計画の期間≫

年 度	H30 2018	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029
基本構想	1 2 年											
基本計画	前期(4年)				中期(4年)				後期(4年)			
実施計画	3年			……………以降、同様に毎年度見直し								

重点プロジェクト

中期基本計画においても、引き続きこれらの取組を推進するほか、将来にわたり持続可能な地域社会の実現に向け、「協創によるまちづくり」の考え方の下、重点プロジェクトとして「3つの創る」を設定し、「活力と笑顔あふれるまち」の実現に取り組めます。



令和6年度(3月)当初予算 一般会計予算決算常任委員会(産業建設分科会)資料

●令和4年度=糸根公園整備基本計画策定業務を実施

【業務の目的】スマイルエイジングの要素を取り入れた新しいコンセプトの下で機能の見直しを行う。

【基本計画の策定】基礎調査として現状・課題整理を行い、市民アンケート、ワークショップ、民間事業者へのヒアリングを実施し、スマイルエイジングの要素を取り入れた基本コンセプトの検討、土地利用計画(配置案)2案を取りまとめた。

今後の設計業務における詳細の調査を基に配置の確定をすることとした。

●令和5年度=事業手法の検討や庁内、関係機関との調整を行った。

●令和6年度=令和6年度は、整備をするために必要な用地測量業務を実施する予定

●令和7年度以降は、設計、調査業務を実施し、解体工事、整備工事と進めていく予定

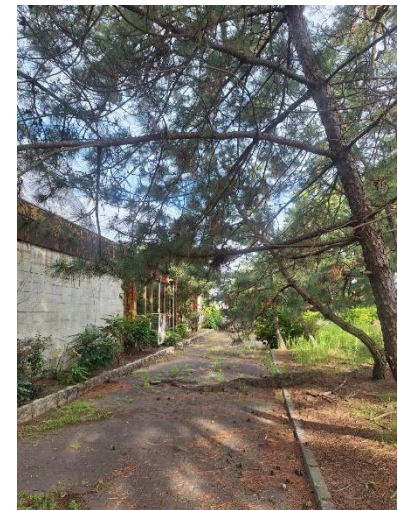
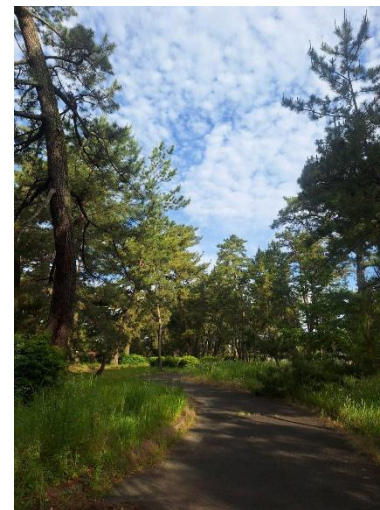
※令和7年度は国の補助制度を活用するために費用対効果の分析のための調査を実施予定



敷地内施設の状況



大きくなり過ぎた糸根の松原



案1】現キャンプ場への整備

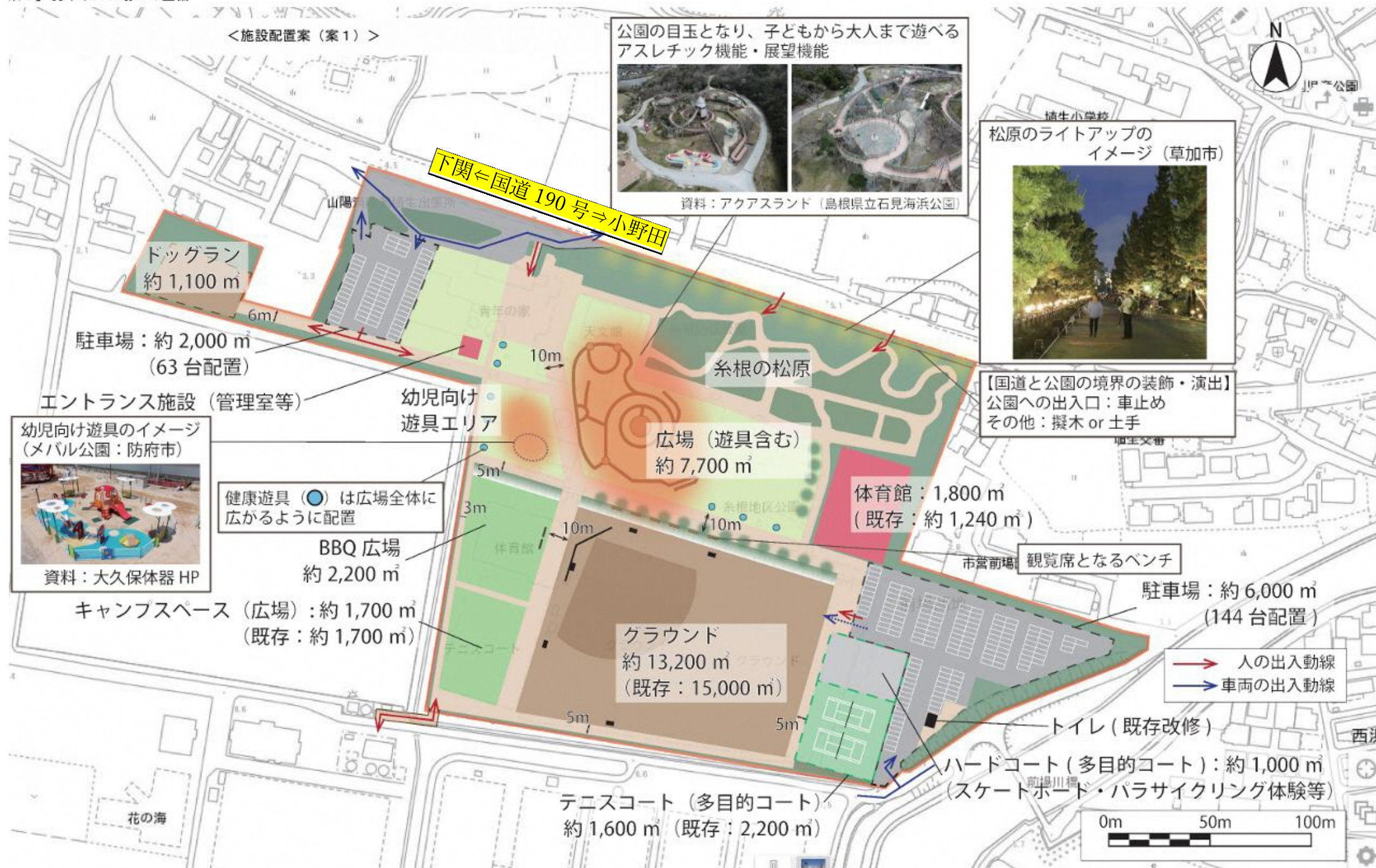


図 8-6 施設配置案(案1)

【案2】天文館跡地への整備

＜施設配置案(案2)＞



図8-7 施設配置案(案2)